

IBM Garage Services

お客様の注文が受諾されると、本「サービス記述書」が、お客様の「クラウド・サービス」をサポートする「アクセラレーション・サービス」に適用されます。該当する注文関連文書には、お客様の発注に関する価格の詳細情報および追加の詳細情報が記載されています。

1. アクセラレーション・サービス

1.1 サービス

可能な場合、IBM は現地言語でこれらのサービスを提供するように努めますが、提供時に使用されるデフォルトの言語は英語である点に留意ください。

お客様は、利用可能な以下のサービスから選択することができます。

1.1.1 IBM Garage Services Design Thinking Workshop

本サービスは、Design Thinking ワークショップにおいて、お客様のビジネス上の問題/ユース・ケースを評価します。この評価に応じて、IBM Cloud サービスまたは IBM のその他のソリューションを活用したアプリケーションの構築を検討することができます。

このサービスでは、IBM は、IBM Design Thinking ワークショップを実施します。IBM Design Thinking は、既に広く認知されているデザイン・メソッドに加え、目標の丘、スポンサー・ユーザー、プレイバックという3つのプラクティスを拡充、世界各地の IBM の IBM Garage において実施された開発から得たナレッジをも適用します。

IBM Design Thinking ワークショップには、IBM Garage またはその他の IBM 所在地における、1 週間 (最大 5 日) にわたる最大 3 名、最大 96 人時間が含まれます。IBM Design Thinking ワークショップ・ユース・ケースは、お客様と IBM チームの間で協議して定義されます。関連するアクティビティは以下のとおりです。

- ユーザーのペイン・ポイントの特定
- ユーザーのペルソナの定義
- 解決策に関するブレインストーミング
- 仮説の特定と検証
- Minimum Viable Product (MVP) の定義
- IBM Cloud をソリューションのプラットフォームとして使用した、ハイブリッド・クラウド・アーキテクチャーおよび潜在的な統合ポイントを含む、テクニカル・ソリューション・アーキテクチャーの調査
- 必要に応じて、ワイヤーフレームを使用したコンセプト・デザインの作成

IBM がサービスを適切に提供するために必要な前提条件は以下のとおりです。

- お客様が、アーキテクト、ビジネス・リーダーおよび IT リーダー、ならびにプロダクト・マネージャーを選任すること。
- IBM が、ユーザー・エクスペリエンス・リーダー、ソリューション・アーキテクト/テクニカル・リーダーを選任すること。
- お客様が「アイデア」または「プロジェクト」を有し、IBM と事案をレビューしていること。

ワークショップの成果としては、合意された仮説および MVP プロジェクト定義があります。

IBM Garage Services Design Thinking サービスの成果物は、ワークショップ実施レポートです。ワークショップ実施レポートは、ワークショップの主なアイデア、テーマおよび洞察を取り込み、作成物や重要な決定事項を文書化し、最終的に提案された MVP ステートメントにどのようにしてチームが到達したのかを説明するものです。IBM は、本文書のソフトコピー (1 部) を PDF 形式で引き渡します。

1.1.2 IBM Garage Services Prepare and Plan

本サービスでは、お客様に見込まれるユース・ケースを検証し、IBM Cloud 環境を構成する方法を提案します。

このサービスでは、IBM は、IBM Cloud 環境の使用に関する現在および将来の目標を特定し、その環境を構成して主要なユース・ケースを最も有効にサポートするプランを提供します。本サービスは、IBM Garage またはその他の IBM 所在地で、1 週間 (最大 5 日間、最大 40 人時間) にわたって連続して実施される 2 つのセッションで構成されます。本サービスは以下で構成されます。お客様のユース・ケースを検証し、必要なプラットフォーム要件/機能を決定する初回のアプリケーション・ディスカバリー・セッションならびに DevOps、ネットワーク、セキュリティ、および統合などのテーマを含む、アーキテクチャー開発のためのアプリケーション・アーキテクチャー・セッション。結果は、大まかなアプリケーション・アーキテクチャー文書および大まかな実装計画の形をとります。

IBM がサービスを適切に提供するために必要な前提条件は以下のとおりです。

- お客様のチームが、アーキテクト、ビジネス・リーダーおよび IT リーダー、ならびにプロダクト・マネージャーを選任すること。
- IBM のチームが、ソリューション・アーキテクトを選任すること。
- お客様がユース・ケースを定義していること。

IBM Garage Services Prepare and Plan の成果物は、アーキテクチャー・トポロジーおよび推奨事項を記述したソフトコピーの文書になります。ワークショップには、IBM Cloud 環境の実際の更新は含まれていません。

1.1.3 IBM Garage MVP Build

本サービスは、IBM Garage またはその他の IBM 所在地で 1 週間にわたり IBM Garage プロジェクト実行チーム (4 名以上) を提供するもので、以下で構成されます。

- 2 名の IBM Garage の「開発者」。2 人 1 組のプログラマーとして最大 80 人時間にわたってお客様の開発者と協力し、IBM 開発コンサルティングを提供することでお客様を支援します。
- 1 名の IBM Garage の「技術リード」。最大 24 人時間にわたって IBM Cloud 開発製品シニア・コンサルティングを提供することでお客様を支援します。
- 1 名以上の IBM Garage の「デザイナー」。最大 32 人時間にわたって「ユーザー・エクスペリエンス・デザイン」/ビジュアル・デザイン・コンサルティングを提供することでお客様を支援します。

本サービスには、お客様の各プロジェクトに対して必須の前提条件があります。

- IBM Garage Services Design Thinking サービスを、各プロジェクト・エンゲージメントの開始前に完了しなければなりません。

本サービスが MVP 開発プロジェクトの第 1 週目である場合、「インセプション」アクティビティを実施し、その実施において、IBM Garage プロジェクト実行チームとお客様は、MVP アプリケーションの範囲を絞り込む「ユーザー・ストーリー」の優先リストについて合意します。この「ユーザー・ストーリー」のリストはチーム・リポジトリー・ツールに取り込まれます。「ユーザー・ストーリー」の優先順位は、IBM Cloud Garage Team と相談して、お客様の「プロダクト・オーナー」により、チーム・リポジトリー・ツール内で定期的にレビューと保守が行われます。

IBM Garage MVP Build の成果物は、IBM Cloud で提供された、相互合意の一連の「ユーザー・ストーリー」とアプリケーション作成物になります。

1.1.4 IBM Garage Architectural Consultancy

本サービスでは、IBM Garage またはその他の IBM 所在地で IBM Cloud の導入を支援する、1 名の IBM Cloud Garage の「アーキテクト」による、1 週間で最大 40 人時間のアーキテクチャー・アドバイザー・コンサルティングを提供します。IBM Garage の「アーキテクト」は、エンタープライズ・ハイブリッド環境における、IBM Cloud の導入に関連する構造およびハイレベルな原則ならびに実現しうるプラクティスについてのソート・リーダーシップ、助言およびガイダンスを提供します。

本サービスには、ハードコピーおよびソフトコピーの成果物はありません。

1.1.5 IBM Garage Cloud-Native Developer Bootcamp

このサービスでは、IBM Garage またはその他の IBM 所在地での、1名の講師による最大12名を対象とした、1週間連続で最大40人時間の研修サービスが提供されます。この研修は、IBM Cloud Developer スキルの学習に重点を置いた、レクチャーと実地演習の組み合わせで行われます。研修クラスは、お客様と IBM Garage チームにより相互に選択、調整された以下のトピックのサブセットで構成されます。

- クラウドネイティブ・アプリケーションの主要機能、手法およびアーキテクチャーを特定します。
- Twelve-Factor App およびマイクロサービスの概念を記述します。
- クラウド・アプリケーションの開発における devOps のロールを記述します。
- IBM Cloud へのクラウドネイティブ・アプリケーションの展開手順を特定します。

受講者は、クラウドと PaaS に関する概念の知識、および Linux と Java EE のプログラミング・スキルに関する初歩的な知識が必要です。

本サービスには、ハードコピーおよびソフトコピーの成果物はありません。

1.1.6 IBM Garage Method Developer Bootcamp

このサービスでは、IBM Garage またはその他の IBM 所在地での、1名の講師による最大12名を対象とした、2週間連続で最大80人時間の研修サービスが提供されます。この研修は、ソフトウェア製品開発のために IBM Garage の「メソッド」を学びたいと思っている開発者のために設計されたブートキャンプです。研修は、IBM Design Thinking ミニセッション、ならびに「リーン・スタートアップ」および「エクストリーム・プログラミング」の概要から始まります。Bootcamp 参加者はその後、「インセプション・ワークショップ」、ならびに動作可能なコードを開発、提供するためのペア・プログラミング、リファクタリング、テスト駆動開発、継続的統合 (CI) および継続的デリバリー (CD) の日次イテレーションを完了します。

本サービスには必須の従属関係が2つあります。各受講者には、アクティブな IBM Cloud アカウントと、Sauce Labs のアカウントが1つずつ割り当てられていなければなりません。

本サービスには、ハードコピーおよびソフトコピーの成果物はありません。

2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

本「サービス記述書」に適用される「データ・シート」はありません。

個人データの処理

- a. 本「サービス」は、一般データ保護規則 (GDPR) (規則 (EU) 2016/679) が適用される「個人データ」の処理は対象としていません。したがって、お客様は、GDPR の適用対象の範囲で「サービス」提供の一部として、お客様に代わって「処理者」として IBM が現在も今後も「個人データ」を処理することがないように、自らの責任において保証することを義務づけられています。
- b. お客様は、前述の項に定めるお客様の義務に影響を及ぼす変更が予定されている場合は、遅滞なく、IBM に書面で通知し、GDPR の適用に伴う要件について IBM に指示するものとします。かかる場合、両当事者は、法律に準拠した IBM の「データ処理補足契約書 (DPA)」 (<http://ibm.com/dpa> に掲載)、および該当する「DPA 別表」を締結することに同意するものとします。

3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

本「サービス記述書」では、「サービス・レベル・アグリーメント」および「テクニカル・サポート」は提供されません。

4. エンタイトルメントおよび課金情報

4.1 課金単位

「アクセラレーション・サービス」は、「取引文書」に記載された課金単位に基づいて提供されます。

- 「エンゲージメント」とは、「クラウド・サービス」に関するプロフェッショナル・サービスまたはトレーニング・サービスです。

4.2 リモート・サービス料金

リモート・サービスを使用したか否かにかかわらず、リモート・サービスは購入日から 90 日後に満了となります。

5. 追加条件

2019 年 1 月 1 日よりも前に締結されるクラウド・サービス契約書 (または同等のクラウド基本契約) については、<https://www.ibm.com/acs> に掲載されている条件を適用します。

5.1 資料

当該オフリングの履行により IBM が作成する資料、およびお客様に提供された資料 (これらの資料のベースとなる既存の資料がある場合は、かかる既存の資料を除く) は、適用法で認められる限りにおいて職務著作であり、お客様に権利が帰属します。お客様は、当該資料を使用、実行、複製、表示、遂行、他への再使用許諾、配布および二次的著作物を作成する、取り消し不能で無期限の非排他的な国内外における無償の使用権を IBM に許諾します。